

ぬまづ憲法9条の会

213号
2023年
11月1日
発行
事務局
神田健夫

います。自
公政権を支
持している
のは国民の
多くても30%です。

改憲「先送り できない課題」

首相所信表明

言葉だけの経済重視

20日に招集された臨時国会の首相所信表明。経済状況「改善」されたとし、経済重視の姿勢で首相は「経済、経済、経済」と言った。しかし、国民には何を
するのか届かない。

減税して次は増税

物価高対策、円安対策もなく、岸田政権の維持・選挙対策の減税、バラマキ政策に見えます。バラマキの後には、防衛費増額に加えて、少子化対策、グリーン・トランスフォーメーション(GX)投資は、岸田政権の

政策の3本柱です。いずれも巨額の前算が計上されることから、「歳出拡大三兄弟」とも呼ばれています。岸田政権は国民に必ず増税を求めます。

まともな政権交代

国民は岸田政権の政策を見抜き、世論調査の政権支持率は不支持が支持を上回っています。時事通信が実施した10月の世論調査によると、岸田内閣の支持率は26.3%で、岸田政権で過去最低を更新しています。国民は物価を下げて、賃金や年金をあげる事が景気を回復する施策だと知って

改憲は先送りできない重要な課題」

岸田首相は23日の所信表明演説で、改憲について「先送りできない重要な課題」と位置づけた上で、「条文案の具体化など、これまで以上に積極的な議論が行われることに期待する」と述べた。これには、現在国会で審議されている4項目の改正の第1「自衛隊」の明記と「自衛の措置」に言及しています。

学徒出陣から80年

出陣学徒は10万人に上るとされますが、何人が召集されなくなったのか正確な数は分からず全体像は不明です。

許すな！ 「新しい戦前！」

対話型シンポジウム

女性・若者にとつて 憲法改正って 何？

日時 11月26日(日)
13時30分

会場 沼津市立図書館4F・
視聴覚ホール

参加費 500円

司会 平井和子さん
パネリスト

角田由紀子(弁護士)
森本けいこ(ジャーナリスト)

浅羽愛(三島市在住母親代表)
稲葉健介(沼津市在住若手代表)

主催 9条の会東部連絡会・
しみん連合静岡東部

熱海9条の会

九条の会が、しみん連合やその他の団体に「年末にかけて、大きな取組み」の呼びに応じて企画しました。

日本を戦場にするな

戦争させない 憲法壊すな

沼津の会」主催

日時 11月18日(土)

13時30分

会場 沼津中央公園
集会・スタンディング

○大軍拡・改憲は戦争への道

○9条改憲許さない

○安保3文書改定撤回せよ

○ロシアはウクライナ侵略を止め即時撤退

雨天中止

土曜日・駅頭

スタンディング

場所 JR沼津駅南口

井上靖記念碑前

時間 13時30分

14時15分

11月4日 11日
25日
いずれも土曜日
プラカードを持って立つても、
腰掛けても参加出来ます。
雨天中止
あなたの思いを
行動に

辺野古新基地建設を

中止せよ！

基地建設を強行する 政府とたたかう 玉城デニー知事

沖縄県名護市辺野古沖で

新たな米軍基地が建設されています。アメリカいいなりに基地建設を強行する岸田政権に対して、玉城デニー沖縄県知事は県民の暮らしと平和を守るためにたたかっています。

辺野古沖の海底は「マヨネーズ」と言われるほど地盤が軟弱です。国は、改良工事のための設計変更を沖縄県に申請していましたが、玉城知事は力学的試験の必要性や、環境への影響などを理由にこれを「不承認」としました

最高裁が国いいなりの「不当判決」

沖縄県の処分に対して、斉藤鉄夫国土交通相が不承認取り消しの裁決と是正指

示を出しました。県は提訴しましたが、最高裁判所は9月4日に県の訴えを退ける不当判決を行いました。玉城知事は判決を、「県の主張について何ら判断を示すことなく訴えを退けたものであり、極めて残念」と批判しました。

また、100人を超す行政法学者が連名で「判決は不合理極まりないもの」「実質審査権を裁判所が放棄することは許されない」との声明を発表し、賛同が広がっています。

斉藤国土交通相は最高裁判決を受け、10月4日までに承認するよう沖縄県に指示を出しました。玉城知事は、判決を精査して対応を検討する必要や、県民や行政法学者などの意見も分析する必要があるため「期限までに承認を行うことは困難」と回答しました。

国は、県に代わって国が承認する「代執行」のため県を提訴しました。これに対し玉城知事は10月11

日、「県に承認せよとの国土交通省の趣旨は承服できない」として応訴する考えを明らかにしました。国の強権的なやり方に対し、県民のいのちと暮らしを守る自治体首長として一歩もひかない玉城知事を支援しようとの声と動きが、沖縄県だけでなく日本各地で広がっています。

政府は憲法を 踏みこむな！

沖縄県に基地負担を押し付ける政府は、県民投票で示された「辺野古に基地はいいない」の民意を無視し、憲法95条の精神を歪めています。憲法の「主権在民」「地方自治」を踏みこむものです。岸田首相は「聞く力」と言うのなら、沖縄県民の声と、その声を代弁する玉城知事の意見に真摯に耳を傾け、辺野古新基地建設を断念するべきです。
(憲法共同センター)

ちよつと良いニュース

＊水保訴訟、国に賠償命令

救済対象外128人全員認定 (大阪地裁)

＊統一協会解散請求へ

組織的勧誘「継続し悪質」
「法令遵守」以降も19億円被害
文化省 証拠資料5,000点を提出

＊「名ばかり個人事業主」救済

アマゾン配達員に労災認定 労基署判断「実態は雇用」

＊性別変更 手術規定

巡り 生殖不能要件「違憲」

手術要件は違憲
社会情勢の「変化」重視
(最高裁全判事が全員一致)
生殖不能要件(生殖腺が

ないか、生殖機能を永続的に欠く)

「外見要件」(移行する性別と外観が似ている)は判断先送り救済は先送り

杉田議員再び 「人権侵犯」

自民党の杉田水脈衆院議員は19日、ブログへの投稿内容が大阪府の在日コリアンの女性らに対する「人権侵犯」と法務省が認定した問題について、「(投稿は)すでに削除して謝罪しているのに、コメントはなにもない」と述べた。

杉田氏を巡っては、アイヌ民族らへの差別投稿でも、札幌法務局が9月に「人権侵犯」と認定している。

岸田文雄首相は、アイヌ民族への差別投稿では12月27日、相次ぐ差別発言が問題視された杉田水脈(みづ)・総務政務官については、事実上更迭した。岸田首相の任命責任は？